



index

特集

● 人工股関節置換術の最新手技

● 抗がん剤治療の吐き気について

トピックス

- ご存知ですか?江南中部地域包括支援センターです♪

イベント紹介

- 新人職員対象 消火器・散水栓取扱訓練
- 東海北陸地区臨床研修病院合同説明会
- ホタルの放流
- こども医療センター苗植え
- 「看護の日」イベント
- 記念植樹

お知らせ

- 公開医療福祉講座のお知らせ
- 第2回 食育を考えるワークショップ・江南
- 看護師・助産師募集
- 保険証の確認について
- 面会のご案内
- 編集後記
- 診療日カレンダー

病院理念

- 一.私たちは「患者さん中心の医療」を実践します
- 一.私たちは患者さんの安心と信頼を得るように努力します
- 一.私たちは医療人としての誇りと自信を持って行動します

人工股関節置換術の最新手技

人工股関節置換術は障害をうけた人の股関節を人工の股関節（金属インプラント）にいかえる手術であり、1973年に英国で報告されて以来、世界的に普及し、その成績は飛躍的に向上しています。人工股関節置換術は20年以上の長期耐用が可能とされ、その背景には40年以上にわたるさまざまな改良（金属インプラントのデザイン、表面加工、関節面）と手術手技の進歩が関与し、現在も日々進化していることに異論はありません。人工関節置換術（股・膝関節を含めて）の件数は1976年の80,000件から、1993年には125,000件、最近では250,000件を超えるほど増加してきています。また、股関節の障害をもつ人々は若・壮年に増え、身体能力の高いこれらの人々は人工股関節置換術の機能面での要求が高くなっています。

従来、外科手術が安全で正確に目的を達成するためには皮膚や筋肉を大きく切開しても良いと考えられていましたが、大きく切開しなくても同等な治療成績が得られれば、その術式が有効であるのは間違いないと思われれます。我々は小さな皮膚切開でさらに、筋肉を切らずにおこなう人工股関節置換術を2006年から約600症例おこない、脱臼率0.15%、杖歩行が術後8日以内、自立した日常生活動作が術後10日以内に獲得できるといった優れた成績をおさめています。筋肉が温存されることは身体への負担が少なくなるため、従来の術式に比べ早い時期での機能回復と社会復帰が可能となり、その結果、日常生活の向上のみならずスポーツへの参加といったハイレベルなライフスタイルを送れるようになってきています。この手技の重要性には諸外国の整形外科医も注目していますが、全ての病院でその手技が導入されているわけではありません。

最後に、進歩しつづける人工関節医療の中で、我々はさらに質の高い技術と知識を追求し、患者さんにとって最良な選択を考えていかなければいけません。我々がおこなう人工股関節置換術は精度と安全性が高く、身体への負担を減らした最新手技であるため、患者さんが求める術後の高い要求に十分対応できているものと自負しています。

第二整形外科部長 兼
関節外科部長

川崎 雅史

毎週火曜日の午前に外来診察として「股関節外来」を行っています。
予約診察となっていますので、受診を希望される方は事前に予約をお願いします。

抗がん剤治療の吐き気について

現在、男性の2人に1人、女性の3人に1人が「がん」になると言われており、当院でも多くの方ががん治療を受けています。がん治療のひとつとして、抗がん剤治療があります。抗がん剤治療では、いろいろな症状が副作用としてあらわれることがあり、そのひとつに「吐き気」があります。この数年で、吐き気を和らげる方法が進歩し、多くの方で吐き気の予防や軽減が出来るようになってきました。しかし、患者さんの中には「吐き気は仕方がない」と我慢してしまう方もいらっしゃいますので、我慢せず是非ご相談ください。



抗がん剤の無菌調製



主任薬剤師
富田 敦和

私たち薬剤師は、抗がん剤治療をより安全に、そして安心して受けて頂けるよう、医師・看護師と協力して、治療の説明、治療内容や副作用の確認、副作用の予防・軽減などの取り組みを行っています。各病棟や外来化学療法センターには、それぞれ担当薬剤師がおりますので、何かお困りのことがありましたら、お気軽にご相談ください。

ご存知ですか？江南中部地域包括支援センターです♪

「地域包括支援センターって何をしているの？」業務の中でよく聞かれる質問の一つです。地域包括支援センターは全市町村に設置されている高齢者の総合相談窓口であり、江南市には市からの委託で北部・中部・南部の3ヶ所設置されています。

地域包括支援センターの仕事をいくつかご紹介します。①江南市に住む65歳以上の方の相談窓口②いつまでも元気に生活できるように介護予防教室の案内や各団体への出前講座③高齢者虐待(疑い)の通報窓口④高齢になっても安心して暮らし続けられる街作りなどです。

これらの高齢者に関する様々な相談や取り組みを行なっていることから、「福祉のコンビニ」とも言われています。相談は無料です。例えば「介護保険の申請を受けたい」「介護に疲れてしまって」など、生活する中で分からない事や困った事があったら、まずはお電話下さい。



江南中部地域包括支援センター

TEL: (0587)51-3322

新入職員対象 消火器・散水栓取扱訓練

4月25日(木)に今年度就職した新入職員を対象に消火器・散水栓取扱訓練を行いました。総勢100名の参加者は、緊急時に速やかに行動できるよう江南市消防本部からの説明を熱心に聴き、実際に消火器、散水栓を使用し手順を確認しながら本番さながらの訓練を行いました。また、火災時に煙の中を避難する煙体験も併せて実施しました。

万一火災が発生したときには、火災による被害の拡大を防ぎ、皆さんの安全を確保し、迅速かつ適切な対応ができるよう今後も訓練を続けて参ります。



東海北陸地区臨床研修病院合同説明会

5月6日(月)「ポートメッセなごや」にて、東海北陸地区135の臨床研修指定病院が参加し、医学生に合同説明会が開催されました。臨床研修病院が医学生に研修内容などを個別に説明し、相談を受ける場として開催されているものです。当院も参加し、診療体制の充実に向けて一人でも多くの医学生に当院を臨床研修の場所として選択いただけるよう、努めています。



ホタルの放流

3月15日(金)ゲンジボタル、4月15日(月)ヘイケボタルの幼虫を各300匹、和みの小川へ放流しました。ゲンジボタルは6月初旬～中旬にかけて、ヘイケボタルは6月中旬～下旬にかけて成虫になり光を放します。当院においても、5月末から多くのホタルが発光し、舞う姿が確認されました。



3月15日・4月15日

Event イベント紹介

こども医療センター苗植え

当院では「食育」活動として、こども医療センターに入院中の院内学級児童とともに野菜の栽培をしています。5月2日(木)に種まき(苗植え)を行いました。子どもたちが毎日水やりを行い、収穫を心待ちにしています。



5月2日

平成25年度『看護の日』を終えて

5月9日と10日の2日間、院内において『命の誕生から看取りまで』をテーマに看護の日のイベントを開催しました。新生児救急ケア認定看護師による『命の誕生、家族の始まりを支えるNICU』、がん看護専門看護師による『誰もが願う穏やかな看取りを迎えるために』という表題の講演会、ボランティアのコンサート、各病棟看護師が作成した病棟紹介ポスターの展示などを中心に行いました。今回は入院患者さんの参加も多くあり、150名ほどの参加者がありました。



5月9日～10日

2013年公開医療福祉講座のお知らせ

江南厚生病院では、地域住民の皆様向けに、医療や福祉に関する情報を提供していく目的で講座を開催します。今年度は、以下のような企画をしております。参加は自由ですので、どうぞお気軽にお越しください。

7月12日(金)	大切な人を看取る時	がん看護専門看護師 主 任 祖父江 正代
8月26日(月)	どうする？ こどもの応急処置	こども医療センター センター長 西村 直子
9月11日(水)	子どもの発達の問題に対する 言語聴覚士の対応	言語聴覚士 主 任 松岡 真由
10月22日(火)	乳がんについて ～腋窩リンパ節郭清とリンパ浮腫～	乳腺内分泌外科 部 長 飛永 純一 主任看護師 赤堀 はるみ
11月21日(木)	腎臓病のはなし	腎臓内科 部 長 平松 武幸
12月 6日(金)	明日は我が身！ 認知症の予防と対策	江南中部地域包括支援センター センター長 大森 美穂

場 所

江南厚生病院
2階講堂

時 間

13:30～14:30

お問い合わせ

江南厚生病院
「医療福祉相談室」

野田・川本 まで

0587-51-3333

主催 JA愛知厚生連

第2回 食育を考えるワークショップ・江南

会場

平成25年9月21日(土)
14時～16時45分

第I部：地域における食育活動報告
第II部：特別講演
「生き抜く力をつける食育」

日時

江南市民文化会館(大ホール)

江南市北野町川石25-1
TEL (0587)55-2321

参加費
無料

(事前登録不要)



講師：坂本廣子先生(料理研究家)

相愛大学客員教授、神戸女子短期大学非常勤講師。
日本の食育実践の先駆け、NHK教育テレビの「ひとりのできるもん」の産みの親。
食育を30年以上前から提唱し続けてきた。
「台所は社会の縮図」として、食育、介護、防災、食の村おこしなど、幅広い分野で問題解決に取り組む社会派料理研究家。

お問い合わせ先

江南厚生病院栄養科(担当:朱宮) TEL:0587-51-3333(代表)

看護師・助産師募集

平成26年4月採用の看護職員を募集します。

7月20日(土) 看護部病院説明会開催

9:30~12:00(開場9:00) 江南厚生病院2階講堂にて

病院概要・看護部理念・教育体制・給与休暇等の説明、先輩との意見交換、施設見学

参加をご希望の方は1週間前までにお申し込みください。

詳しくは江南厚生病院ホームページをご覧ください。

※選考会は8月2日(金)・8月16日(金)に行います。

お問い合わせは TEL 0587-51-3332 看護管理室 まで

一生のシゴト、
はじまる。

じっくり成長していこう。
ずっと続けてほしいから。

平成26年4月採用の
介護福祉士も募集しています。

記念植樹

3月28日(木)病院東側の池の周辺で24年度末で退職された加藤院長(ウメ)、尾崎副院長(ヤマモモ)、伊藤副院長(イロハモミジ)、池内副院長(イヌマキ)による記念植樹が行われました。大切に育てていきます。

(※カッコ内は寄贈いただいた木)



● 保険証の確認について

当院では毎月一度保険証の確認を行っています。外来受診の際は各外来受付が新患受付へ、入院中の方はスタッフステーションに保険証をご提示ください。なお、氏名、住所、電話番号等の変更があった場合もご提示をお願いいたします。

● 面会のご案内

平日	15:00~20:00
土・日曜日・祝日	13:00~20:00

※4人床の面会は、同室の患者さんの迷惑にならないように談話コーナーなどをご利用ください。

※患者さんの安静は治療上大切です。容体によっては面会をお断りする場合があります。

編集後記

●暑い夏の到来です。夏の風物詩に盆踊りがあり、町内で夏まつりが開かれ、盆踊りの準備等が始まる頃だと思えます。昨年は私も見様見真似で踊りの輪に入って踊りました。気分転換になることから今年も踊ろうと思っています。それでは皆さん、お体に気をつけてお過ごしください。

2013年 診療日カレンダー

■ 休診日(第2・4・5土曜日は休診です)

● 午後休診

7月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

8月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

9月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

●発行日/平成25年7月1日

●発行/JA愛知厚生連 江南厚生病院 広報委員会

〒483-8704 愛知県江南市高屋町大松原137番地 TEL(0587)51-3333 FAX(0587)51-3300